

平成28年6月13日

国土交通省中部地方整備局 清水港湾事務所

『清水港で「みなとの魅力」を学習！』

～小・中学生235名が清水港を体感～

1. 概要：

国土交通省中部地方整備局清水港湾事務所では、「みなと」の学習を目的とした方たちに港内見学の対応など支援を行っています。

6月1日及び3日には、静岡県内外の小・中学校の児童、生徒が清水港を訪れ、清水港の歴史や特徴、日本経済の屋台骨となる港の産業構造について、現場を体感しながら学びました。

見学に訪れたのは、静岡市立伝馬町小学校の3年生70名、東京都から明治大学付属明治中学校の2年生165名。

当日は、船上から港内の様々な物流機能やエネルギー関連施設、沖合の防波堤など港を構成する施設の見学の他、港のにぎわい空間、富士山との景観に配慮した清水みなと色彩計画の取組成果など、清水港の多様な機能や特徴を学習しました。

また、地元企業の協力により“冷凍マグロ倉庫”や“国際コンテナターミナルの荷役作業”の見学も行うことができました。

日常では見るのが難しい、清水港の施設や機能を間近で体感し、国民生活や産業活動、地域に貢献する賑わい・景観など、港が果たす多くの役割や重要性、魅力について理解を深めていました。



《船による港内見学の様子》
(明治大学付属明治中学校)

2. 開催日時・場所

○ 平成28年6月1日(水)

参加者：静岡市立伝馬町小学校3年生 70名

見学場所：清水港内(船上見学)、八洲水産冷凍マグロ倉庫

○ 平成28年6月3日(金)

参加者：明治大学付属明治中学校2年生 165名

見学場所：清水港内(船上見学)、清水マリビル(港概要説明)
清水コンテナターミナル

3. 見学の様子・参加者の感想

別紙参照

4. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、静岡県政記者クラブ、静岡市政記者室、港湾空港タイムス、港湾新聞、日本海事新聞、海事プレス

5. 問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 清水港湾事務所 企画調整課 堀池

Tel 054-352-4148 Fax 054-353-3072

○見学場所（海上）



○見学の様子

【静岡市立伝馬町小学校】



《船による港内見学の様子》



《冷凍マグロ倉庫見学の様子》

【明治大学付属明治中学校】



《コンテナターミナル見学の様子》



《清水港概要説明の様子》

協力：清水コンテナターミナル株式会社
八洲水産株式会社

【参加者の感想】

静岡市立伝馬町小学校

- 海から灯台が見れて楽しかったです。
- 最後、船の外席に乗ったのが楽しかった。
- 船の揺れ、景色、説明が楽しかった。
- 冷凍倉庫がとても寒くてびっくりした。

明治大学付属明治中学校

- 資料を見ながらの説明だったので、とても分かりやすかった。特に私がすごいと思ったのが、「みなと色彩計画」です。清水港に到着した時から「カラフルだなあ」と思ったのですが、クレーンのアクアブルーは本当にきれいでした。景色もとても美しく楽しみながら勉強になる話を聞かせていただき、いい経験になったと思います。
- 清水港の仕組みや工夫がいろいろわかってとてもためになりました。清水港のいろいろな取り組みは他の港湾も真似するべきだと思いました。
- 清水港は有名なのにとても小さいということに驚きました。また、コンテナ船でもたくさん種類があり、それぞれ特徴があっておもしろかったです。もっといい景観、港になれるように頑張ってください。
- 船に乗りながら、説明をきくことができたため、全く苦にならず外の景色と共に楽しみながら学ぶことができてよかったです。
- 景観を守ろうとする活動がすごいと思った。小さい港というデメリットに見える点も活用していてすごいと思った。
- 船に初めて乗ったが結構酔わないんだと思った。なんでも大きければ大きいほど広ければ広いほどいいのかと思っていたけれどコンパクトな港でも全国7位だから驚いたしすごいと思った。
- たくさんの工夫があってすごいなあと思いました。陸上だけでなく、海上の船で働いている人たちもいて私たちの豊かな生活はたくさんの人によって支えられているんだなあと思いました。
- 資料とともに説明を聞くことができて、清水港ならではの工夫を学んだり、日本の技術を知れたり、通常授業ではわからない現地の人の授業ができて良かったです。これからはきれいでみんなに愛される清水港になってください。
- 社会の物流について学べたのでいい機会でした。他のどの港よりも発展していて、たくさん貨物を輸送できる中心となってもらいたいです。
- 今日は清水港の様々な歴史や構造などを解説して下さり、本当にありがとうございました。今度は家族で来て見たいと思いました。